

達成度：H22.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

参事の目標（平成21年度）自己評価書

総務担当参事 遠藤 泉

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 個性豊で魅力と活力にあふれたまち「ふるさと酒々井」の実現に向けて、政策の調整及び進行管理に取り組みます。（総務部門全般、主として経営企画課）</p> <p>（1）町の財政状況は、依然として厳しい環境にあります。計画的な事業進行を図るため、事業を精査するとともに、国県補助金及び優良な地方債を活用するなど財源確保を図り、事業の推進に努めるとともに、進行状況を検証し適正な管理に努めます。</p> <p>（2）政策実現に向けて、町民の理解を得られるよう情報提供に努めます。</p>	<p>4</p> <p>4</p>	<p>財政の健全化を図るとともに、中長期的な財政の見通しのなかで、町の各事業を推進していくこととしています。</p> <p>主な事業としては、酒々井小学校の屋内運動場改築事業、JR酒々井駅のバリアフリー化事業、ICアクセス道路整備事業があります。</p> <p>また、子育て支援や保健福祉分野など、ソフトな事業についても改善を図っています。</p> <p>平成21年度の施政方針の取り組み状況、実績をホームページで公表するとともに、その他の町にかかわる情報等についてもホームページや広報等で随時公表しています。</p>

<p>2 職員の資質の向上と職員の適正配置（総務課）</p> <p>少子高齢化や多様化する社会の変化の中で、住民サービスの低下を招くことのないよう職員の資質の向上をはかるとともに、職員の適正配置に努めます。</p>	4	職員の新規採用を退職職員の補充の最小限にとどめると共に、職員研修を計画的に実施しています。
<p>3 予算編成及び財政健全化緊急対策（財政課）</p> <p>町財政は、三位一体改革による町税の増収はあるものの、地方交付税、国庫補助金の削減により、大変厳しい状況にあります。また、経常収支比率については、平成19年度決算において93.2%と、依然として高い水準にあり、今後とも、財政健全化に向けて、あらゆる角度から見直しを行い、簡素にして効率的な行財政運営を図るよう努めます。</p>	4	概ね、計画的事業の推進を図ることができた。今後は、主な事業として、今年度、小中学校の耐震化事業、京成酒々井駅のバリアフリー化事業、及び、小中学校の情報化推進事業等を推進します。
<p>4 税収の確保と徴収率の向上（税務課）</p> <p>平成19年度において、国の三位一体改革により所得税から住民税へと税源委譲が行われています。これらのことから、滞納額が増加することが懸念されますが、税収の確保や税負担の公平性の観点から、滞納額を減らし徴収率の向上に努めます。</p>	4	休日出勤による臨戸徴収はもとより、大口滞納者の減少に努め、徴収率の向上を図ることができた。
<p>5 チャレンジ目標</p> <p>依然として厳しい財政状況のなかで、効率的な運営とともに、一般財源の確保を図るべく行政改革を含め、歳入歳出をあらゆる角度から検討し、取り組みます。</p>	4	一般財源の確保に努め、歳入歳出の検討を行い、効率的な財政運営を図っています。